



馬淵川の源流で祈願祭 五穀豊穰と無災害祈る

町観光協会（遠藤裕樹会長、団体会員10団体、個人会員11人）主催の源流祈願祭は5月27日、源流公園で関係者ら約40人が参加し、五穀豊穰と水災害の無事を祈願しました。

遠藤会長は「水はすべての命の源です。源流は緑豊かな自然の象徴とも言えます。50年、100年と源流を守り続けていきたい」とあいさつ。続いて鈴木町長が「馬淵川の源流、源泉の町としての認識を深めながら役割を果たしていかなければならない。未来につなげる活動にしてほしい」と祝辞を述べました。

水災害の無事を祈願しながら神事を見守る関係者の皆さん

手作りの良さ伝える くずまきクラフト市を開催

くずまきクラフト市（同実行委員会主催、南館則江代表）は6月16日と17日の2日間、新町地区の「町家」で開催され多くの人でにぎわいました。

これまで一部のみ使用していた町家を、全体的に活用できるように整備したほか、裏庭にはウッドチップを敷き詰め、木の香り漂うゆったりとした空間を演出。訪れた人たちは、女性有志で構成される同実行委員会の細やかな心遣いが随所に感じられる会場で、手仕事の温かみや楽しさを満喫していました。



ウッドチップが敷き詰められた町家の裏庭とクラフト市の会場正面

ミニコンサートで童心に返り 懐かしい童謡歌い心通わす

6月11日、葛巻病院の活・いきホールで葛巻コールアローミニコンサートが開催され、約40人の観衆が鑑賞しました。懐かしい童謡などを会場全員で歌いあげる構成に、集まった人たちは童心に返り楽しんでいるようでした。

中村正治さん（83歳、浦子内）は「病院の中に人が触れ合う場所が造られ、ありがたい。町には文化活動に取り組んでいる方がたくさんいるので、これからもさまざまな形で活用され、みんなで楽しめるといいですね」とこれからの活・いきホールの活用に期待を寄せていました。



聴衆と一体になって懐かしい童謡の数々を歌う葛巻コールアローの皆さん



照りつける太陽の下で白球に狙いを定めバットに力を入れる選手

町総体の前期競技開催 総合成績首位は中部A

第34回町民総合体育大会の総合開会式と前期競技は6月3日、社会体育館と総合運動公園で開催されました。

ソフトボールでは、北部が2年ぶり7度目の優勝、ファミリーバレーボールでは、中部Aが1部2部ともに優勝しました。各地区から集まった選手たちは、気温と熱気が高まる中、さわやかな汗を流しながら交流を深めていました。

前期競技を終えた時点での総合成績は、中部Aが首位につけ、続いて北部、江刈A、西部、中部B、江刈Bの順番で追う展開となっています。

葛巻病院経営審議委員会開催 委員らに委嘱状を交付

葛巻病院経営審議委員会は6月18日、同院で開催され出席した委員らに委嘱状が交付されました。同審議委員会の委員長に町国民健康保険運営協議会の和野喜一会長が、副委員長に町老人クラブ連合会の中村正治会長が任命されました。委員らは、今後2年間の任期で葛巻病院の経営健全化について審議していきます。

第1回目となる今回は、平成29年度決算と葛巻病院新改革プランの達成状況について審議。待ち時間の状況改善策の提案などの発言があり、利用者と経営する側で現状を確認し合いました。



葛巻病院の経営健全化に向けた審議を行う経営審議委員の皆さん

次々浮かぶ五・七・五 江刈小で俳句の学習

江刈小学校（越智秀樹校長、児童25人）の俳句の学習は6月13日、同校で開催されました。児童らは校庭にある身近な植物や昆虫などを見つけ季語になるかどうかを学んだあと、五・七・五の一句を教室に戻り指を折りながらひねり出していました。

木戸場乃愛ちゃん（2年）は「バッタやウグイスなど俳句の種をたくさん見つけられました。俳句がいっぱい作れて楽しいです」と校庭で見つけてきた季語の種を眺めながら、次々と思い浮かぶ一句をうれしそうに書き出していました。



校庭で植物や昆虫などを探し俳句の季語になるか考える児童